

令和3年度
第3回留萌市公共施設整備検討会議
議事概要

- 日時／令和3年9月30日（木）18:00～20:00
- 場所／留萌市役所3階 3・4号会議室
- 出席者／委員 炭谷座長、向井副座長、大石委員、村上委員、笠井委員、小沼委員、坂本委員、堀口委員、高橋委員、大和委員、遠藤委員、伊端委員、串橋委員、谷委員、田村委員、神部委員、西埜委員※順不同
- オブザーバー 留萌市都市環境部：安田課長、市教育委員会：伯谷課長、峨家係長、留萌振興局：榎波部長
- 事務局 海野課長、菊池係長、高橋主任
- アドバイザー 北海道大学大学院工学研究院：小篠准教授
- 運営支援 (株)ドーコン 佐竹、佐藤

1. 開会

2. 座長挨拶

- －炭谷座長よりあいさつ。

3. 前回会議の振り返り

(1) 第2回検討会議 グループ発表のまとめ【資料1】

- －ドーコンより、第2回検討会議 グループ発表のまとめ【資料1】について説明。

4. 資料説明

(1) これからの「公共施設」が担う役割を考えよう【資料2】

- －事務局より、これからの「公共施設」が担う役割を考えよう【資料2】について説明。
- －質疑・意見確認
- －特になし。

(2) 公共施設等の整備事例【資料3】

- －ドーコンより、公共施設等の整備事例【資料3】について説明。

(3) 遠軽町芸術文化交流プラザ（メトロプラザ）の事例紹介【資料4】（谷委員による事例紹介）

- －谷委員より遠軽町芸術文化交流プラザ（メトロプラザ）の事例紹介【資料4】について説明。
- －質疑・意見確認

（〇〇委員）

- ・事例紹介は施設整備の検討に参考になる。追加で「えにあす」と「まちとしょテラソ」について知っている情報をお伝えしたい。

- ①「えにあす」は図書館を核とした施設であるが、恵庭市民が施設について必ずしも誇りを持っているかという点、そういう訳ではないと聞いている。ただ、コンビニや救急機能があり参考になるのではないかと。
- ②「まちとしょテラソ」についての講演を聴講したことがある。館長が公募で決められており、初代館長は演劇でテレビにも出演したことがある方が就任している。さらに館長以外にも専門家がいて事業が行われている。まちじゅう図書館は素晴らしい取組であるが、まちじゅう図書館が実際に市民に利用され、成功しているという話は聞いたことがない。果たして留萌で実施した場合、本当に利用されるのか疑問である。
- ・本事例紹介は駅から近い事例ばかりであるが、留萌では近い将来廃線となり、駅が廃止となる可能性が高い。その為、駅に近接していない場所へ整備し成功している事例についても教えていただきたい。また、人口も同規模の事例があると尚良いのではないかと。
- ・遠軽町は住民に熱意があり、公共もその熱意を支える気力があつた。社会教育施設に対して、住民と公共のどちらも真剣さがあることが大事ではないかと。また、町としてのビジョンが必要ではないかと。

5. グループ協議

(テーマ)

これからの「公共施設」が担う役割やサービス、市民が望む使われ方、使わせ方。

(1) グループ協議

ー4 グループに分かれて意見交換を実施。

(2) 意見交換の結果報告

①Aグループ

ー〇〇委員より主な意見として以下を報告。

- ・建物を集約するしないどちらにしても、コンセプトを掲げるべきではないかと。
- ・事例でも紹介されたが、多世代が楽しんで心地よく過ごせる交流拠点とすることをコンセプトとしてはどうか。
- ・事例紹介では様々な運営主体があつたが、当初のコンセプトとずれはないのか、想定通り運営されているのかを知りたい。
- ・幅広い世代が過ごせる場所となることが理想だが、立派な施設を整備しても、利用されなければ意味がなくなってしまう。
- ・複合施設の内容検討より、そこで市民が何をしたいのか、の議論が先であり大事だ。市民が何をしたいのが、どのような機能施設を求めているのかを把握したうえで機能を決めていく必要があるのではないかと。

②Bグループ

ー〇〇委員より主な意見として以下を報告。

- ・市民や市外の人が足を運んでもらえる施設とするためには、初めにコンセプトを設定し、その後機能を検討するべきではないかと。
- ・市民が何を必要としているか。高校生の行き場、バス交通機能、避難所、ホールの座席

数などを検討するうえでもコンセプトが大事。

- ・音楽合宿を推進するのであれば、音にこだわってホールの座席は固定席が望ましいし、そうでないのであれば可動席でもいい等、利用用途によって必要な機能は異なるのではないか。
- ・藝術大学と連携し、知恵をいただくことも1つの手ではないか。
- ・谷委員から依頼することで、遠軽高校吹奏楽部顧問であり遠軽町芸術文化交流プラザ建設検討委員でもある高橋先生より、遠軽での事例を講演頂くことも可能である。

③Cグループ

一〇〇委員より主な意見として以下を報告。

- ・人口規模が同程度の事例でないと参考にならないのではないか。
- ・事業コンセプトを決めることが重要ではないか。
- ・やりたいことができる場所を整備する必要がある。例えばスタジオ的なものがあれば、YouTubeの撮影が可能である。また、近年流行しているeスポーツに対応するのも良い。
- ・専用施設ではなく、様々な用途で活用できる空間が施設内にあると良い。
- ・文化的なものでもスポーツ施設で転用できるものもあるため、2つの機能が組み合わさった施設が良い。
- ・施設に求めている使用法は世代によって異なるのではないか。世代別の求めている機能を知ることが重要。
- ・市役所機能があると良い。
- ・子供が遊べる施設であるならば、保護者の居場所が必要。遠軽町の事例でも、ホワイエやカフェがあることで保護者等の居場所が確保されている。
- ・多機能な施設となる場合、バスターミナルのような機能も併せて必要。

④Dグループ

一〇〇委員より主な意見として以下を報告。

- ・事例はたくさんあると思うが、結局は主体となる事業者によって大きく異なるのではないか。
- ・人口規模は同じだが、遠軽の施設規模が留萌にあっているのかは検討が必要。
- ・紹介された事例が成功しているか、現時点ではまだ分からない。
- ・市民のみではなく、行政側のバックアップも重要。
- ・不特定多数ではなく、特定の人に刺さる機能も必要。
- ・文化機能を有する複合施設なのか、運動機能を有する複合施設なのかで、施設は大きく異なる。
- ・言葉を絵にできる人材（実現力）が必要である。
- ・遠軽町の事例のように、ビアパーティーや結婚式等が開催可能なコンベンション機能があると良いのではないか。
- ・駐車場も必要である。
- ・ターミナル機能を持たせることも必要ではないか。その際、待ち時間に買い物等ができるような立地が望ましい。

- ・施設利用を目的とした集客をメインとするか、ふらっとついでに寄れるような施設を目指すのかによって考え方が異なる。
- ・コンビニがあると良いが、採算性の問題も出てくる。
- ・利用団体からの意見、要望をしっかりと聞くべきである。
- ・資料1でまとめられた内容が重要である。

⑤小篠准教授よりコメント

- ・事例紹介により、前回検討会議に比べグループ討議が圧倒的に活発に行われていた。
- ・施設コンセプトを決めなければ、何も始まらないという気づく段階に来た。
- ・利用団体にも聞かなければコンセプトが決められないのはもちろんだが、ヒアリングやアンケートの実施には時間がかかってしまう。大きな方針については、この会議で責任を持って出していく必要がある。
- ・文化施設の機能、活動団体の必要な機能を整備すると、その人達の施設になってしまう。
Aグループより発表のあった、多世代交流ができる施設というコンセプトは良い。
- ・Cグループより発表のあった通り、スポーツ・文化活動は同じ空間をシェアして利用することが可能だと思う。交流プラザのような気軽に利用でき、居場所となる施設が望ましいのではないか。例えば、高校生が待ち合わせ場所として利用できるなど、多世代交流という観点で、Aグループと考え方が近いのではないか。
- ・Cグループより発表のあった、保護者の居場所についても、もちろん重要である。
- ・Dグループの発表で触れられていたが、目的施設でなくとも、街中のどこかに立地することで、ついでの利用が望めるのではないか。
- ・〇〇委員より、整備の仕方と運営が一体であることが重要であるとの意見があった。また、事例の人口規模を合わせることはもちろん大事である。しかし、やりたいことに対する規模に合わせればいいのではないか。これまでは施設整備を検討する際に、まず人口規模に合わせていた。それでは誰が利用するのか分からない。そのため、利用者をどのように支えれば良いのかが問題である。
- ・遠軽町の施設建設に係るアドバイザーは、砂川市の施設整備にも関わっていた太田晃正（有限会社時円プランニング代表取締役）である。2つの施設コンセプトは似ている。
- ・通常、ホールは閉じた空間であり、中に入らないと演劇も音楽も感じるができない。しかし、もっとラフに触れられる活動の仕方がほかにもあるのではないか、という発想から、壁で仕切られていない空間を造り、マルチな目的に使用可能な施設を整備している。イベントへの参加の敷居を下げ、文化活動を開いていくことが求められていると、遠軽町民は考えたのではないか。では留萌市民はどう考えるか。
- ・コンセプトをすっかり決めるのではなく、大きな方向性を本検討会議で出していければよい。
- ・運営方法の検討は非常に難しい。留萌市でも他都市の事例のような運営が可能なのか。長年関わっている東川での事例紹介も可能である。留萌に合った運営方法を考えていく必要がある。

－質疑・意見確認

－特になし。

6. その他

－市から災害リスクに関する説明は次回行うとの説明があった。

7. 閉会